日本女性栄養・代謝学会誌投稿規定

1．投稿内容

1）投稿論文は他誌に発表されていない学術論文に限る。

2）原稿内容は産婦人科領域における栄養・代謝に関連する研究ならびに症例とする。論文の種類は「総説、原著、症例報告、速報、依頼原稿、その他」とし、編集委員会が適当と認めたものとする。

3）投稿の際には，本誌の倫理規定を遵守していること、不適正行為がない、および著作権を本学会に委譲することについて記載した誓約書に，著者全員が署名のうえ提出すること。

4）依頼原稿を除き、英文での投稿は受け付けない。

2．投稿資格

本誌への投稿は，共著者も含め原則として本学会会員に限る。なお学部学生と初期臨床研修医では指導医の証明があればこの限りではない。

3．論文の採択

論文の採択は、編集委員会が依頼した査読者の査読を経て、編集会議で決定する。編集会議で採択された論文の掲載順序は原則として登録順によるが、編集の都合により前後することがある。

4．校正など

1）原稿の掲載は原則として受理順とする。

2）初校は著者校正とし，再校以後は編集委員会において行う。

3）受理した原稿は返却しない。

4）掲載料は別に定める。

5．原稿送付先：

日本産科婦人科栄養・代謝研究会編集委員会 tnohira@tokyo-med.ac.jp

原稿は上記アドレスまでデジタルデータで提出する。

6．原稿の様式

1）投稿論文は、総説、原著、症例報告、速報、依頼原稿、その他（研究会事業報告など）とする。速報とは、新しい研究方法の開発、あるいは将来発展する価値のある新知見を早急に報告・掲載するためのものとする。総説は原則として編集委員会の依頼によるものとし、その著者は本研究会会員に限定しない。

2）本誌に投稿する際は，二重投稿でない旨とともに、最新版の厚生労働省「臨床研究に関する倫理指針」を遵守しているかについてcover letterで明確に記載する。もし必要が無いと判断した場合は、その理由をcover letterに明確に記載する。

3）論文の内容が臨床研究の場合は、①被験者からのインフォームドコンセント及び施設内倫理委員会（もしくはIRB等それに相当するもの）による研究計画の承認が得られていること、②動物実験の場合には施設のガイドラインに準拠していること、を論文中に明記すること。

Presented by Medical*Online

4）投稿にあたり個人情報の取扱いは個人情報保護法を遵守すること。とくに症例報告においては患者のプライバシー保護の面から個人が特定されないよう、氏名、生年月日、来院日、手術日等を明記せず臨床経過がわかるように記述して投稿する。また、対象となる個人からは同意を得ておくことが望ましい。
5）論文について開示すべき利益相反状態があるときは，投稿時にその内容を明記する。利益相反状態の有無の基準は，日本産科婦人科学会の「利益相反に関する指針」運用細則（投稿規定細則を参照）による。
6）原著は，緒言，対象と方法，成績，考察，文献，図表、図表の説明文の順で記載する。
7）症例報告は，序文，症例，考察，文献，図表、図表の説明文の順で記載する。
8）表紙にはタイトル、著者名、所属（以上邦文および英文)、Key word（英語、原著5語以内、症例報告3語以内、Medical Subject Headings（MESH，Index Medicus）を参考)、ランニングタイトル（20字以内）および著者連絡先（住所、e-mail address）を記入し、原稿の種類別（総説、原著など）を右上に赤字で銘記する。
9）症例報告の筆者は，6名までとする。
10）要旨は400字以内とする。
11）英文抄録（300語以内）をつけること。

7．原稿の記載方法
1）原稿は，横書きとし、現代仮名遣い、当用漢字を用いること。
2）英語の綴りは原則として米国式（例：center、estrogen、gynecologyなど）とする。
3）原稿の長さは下記を限度とする。
原　　著：本文は12000字以内（図表を含む)、邦文要旨400字以内、英文要旨300語以内を添付する。
症例報告：6000字以内（図表を含む)、英文要旨250語以内を添付する。
速　　報：1600字以内。図あるいは表1枚は400字に換算する。
4）表紙から文献までは，通しの頁番号を入れること。
5）外国の人名、薬品名などの化学用語は必ず原語を用い、それ以外の学名はイタリック体を用いるかアンダーラインで明示する。単位、数量を表すにはm，cm，mm，mL，mg，%などを用い、数字はアラビア数字を用いる。薬品名は一般名での記載を原則とし、やむをえず登録商標名を使用する際は、最初を大文字とし、商標名の末尾右肩に®をつける。以上は半角英文数字で表記する。
6）英文要旨は，英語を母国語とする医師、または英語が堪能な医師の校閲を受けること。
7）本文中の文献番号は，右肩上に片パーレン付き（例：周産期[4)]）で明記すること。

8．図表について
1）電子画像は解像度300dpi以上で15cm程度の大きさのものを用意する。図表はモノクロ掲載を原則とし、原図がカラーの写真・グラフ等はグレースケールに変換する。カラー掲載が希望の場合は，実費負担とする。
2）図表番号・タイトル・解説文・略号などは別紙にまとめて記載し、図番号がわかるように明示する。
3）すでに刊行されている雑誌や著書から図表を引用する場合には、著作権を有する出版社あるい

Presented by Medical*Online

は学会、著者などから許可を得たうえ、出典を明記する。出典の表示は文献表示に準じること。

9．文献について

1）本文中に肩付けした引用番号順に配列する。

2）著者名は3名までを明記し，4名以上は「……ほか」あるいは「…… et al.」とする。

3）誌名の略記は、邦文誌は日本医学図書館協会編“日本医学雑誌略名表”，英文誌は“Index Medicus”に準じること。

a．雑誌の場合の記載順序

引用番号）著者名：題名．雑誌名　発行年（西暦）；巻：頁-頁

［例］8）Lahita R，Kluger J，Drayer DE：Antibodies to nuclear antigens in patients treated with procainamide or acetylprocainamide. N Engl J Med 1979；301：188-95

［例］12）鎮目和夫：我国における下垂体疾患の現状．日内分泌会誌 1975；52：1141-51

b．単行本の場合の記載順序

引用番号）著者名：分担項目名．編者名．書名．（巻）．（版）．発行地：発行社名、発行年（西暦）：頁-頁

［例］5）Foley T，Malvaux P，Blizzard RM：Thyroid disorders. In: Kappy MS,Blizzard RM，Migeon CJ,eds. The Diagnosis and Treatment of Endocrine Disorders in Childhood and Adolescence. 4th ed. New York：Charles C Thomas，1994：457-9

［例］26）佐野 豊:神経内分泌学の歴史と発展. 井村裕夫総編集. 神経内分泌．1. 形態．東京:中外医学社，1985：1-16

c．他の形式についてはUniform requirements for manuscripts submitted to biomedical journals.（http://www.icmje.org/）を参照のこと。

10. 別冊

1）総説・原著・症例報告・依頼原稿につきましては，無料にて50部の別冊を作成します。

2）希望の別冊部数は、印刷の都合上50部単位といたします。校正時に確認いたします。ただし，51部以上は実費負担とします。

11. 実費負担

以下につきましては、実費負担とします。

①投稿原稿は総説・原著7頁以上，症例報告5頁以上，速報3頁以上，の各超えた頁分．依頼原稿は依頼頁を超えた頁分。

②図の作成，およびカラー印刷など特殊な印刷を要したもの．依頼原稿も含めます。

③ 51部以上の別冊代金（50部まで無料で作成します）。

2016年4月作成
2017年2月改訂
2019年3月改訂

Presented by Medical*Online